

BUSINESS REPORT



TRADERS HOLDINGS CO., LTD.

第11期 報告書

2009年4月1日～2010年3月31日

トレイダーズホールディングス 株式会社



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当社グループに、多大なご理解とお引立てを賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは1999年11月の設立から、2010年3月期(2009年4月1日から2010年3月31日まで)は創業10年を迎える節目の年となりました。これもひとえに、株主の皆様をはじめとし、当社グループのサービスをご利用いただくお客様、関係各位のご支援の賜物と心より感謝を申し上げます。

当社グループは、創業以来、外国為替証拠金取引およびリテール向け日経225先物・オプション取引の分野におけるリーディングカンパニーとなることを目指して順調に業績を伸ばし、2005年4月には、大阪証券取引所ヘラクレスに上場を果たしております。しかしながら、近年の経営成績は、参入企業の増加による企業間競争の激化、昨今の経済情勢の悪化と金融不安の影響による個人投資家の投資意欲減退、あるいは新たな規制の導入など経営環境の変化に対する施策が功を奏さず厳しい結果が続いております。このような状況の中で、当社グループは、創業からの原点に立ち返り、創業10年が経過した当期を第2の創業期として新たな再出発を果たすべく、創業メンバーを中心に経営体制を一新し、強力なリーダーシップを発揮することで、今後の事業展開において中核となる事業基盤を整えてまいりました。

今後の事業環境も厳しい状況が予想されますが、全グループ会社役員一丸となって、努力を積み重ねてまいりまいる所存でございます。

株主の皆様には引き続きのご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

트레이ダーズホールディングス株式会社
 代表取締役社長 金丸 勲

トレーダーズグループの取り組み

商品性の強化

当社グループでは、事業の主軸となる外国為替取引事業および証券取引事業において、参入企業の増加による競争激化や新たな規制の導入など市場環境の変化に順応すべく、投資家のニーズに応じた新しい機能拡充など魅力的な取引環境を提供し続けることで、商品性の強化を図っております。

証券取引事業では、日経225先物取引の商品性を強化し、海外市場の動向に合わせた取引を希望される投資家のニーズに答えるべく、海外指数先物取引の取扱いを開始いたしました。

外国為替取引事業では、相対取引である『ネットフォレックス』に替えて、機能性を高めた新取引システム『TRADERS FX』を、取引所取引である「くりっく365」では自社システムとなる『TRADERS 365』の取引サービスをそれぞれ開始しております。

加えて、かねてよりその成長性に着目していたシステムトレード市場においても、海外先物取引の取引システムにシステムトレード機能を実装した『GIT匠』をリリースしており、また、外国為替取引事業においても『TRADERS 365』のAPI公開を行います。

当社グループでは、高い操作性と機能性を併せ持つ取引システムを投資家の皆様に提供することはもちろんですが、従来、商品ごとに異なる取引システムを利用することが一般的であったものを、同じ取引システムにおいて、さまざまな商品を取引できるようシステム開発を進めることにより、利便性の強化を図ってまいります。現在、リリースしております『TRADERS 365』は、この考えに基づき『TRADERS FX』と同じプラットフォームを採用しており、今後は、証券取引事業においてもこのサービスを推進していく予定であります。

また、システムトレード市場においても、当該分野に特化させたト

沿革(トレーダーズの10年の歩み)

1999年11月

- 外国為替取引事業を行う会社として設立。同年12月に外国為替取引事業を開始

2000年5月

- 業界初となる、外国為替取引事業のネット取引を開始

2001年9月

- 大阪証券取引所の先物取引等取引資格を取得。同月、日経225先物・OP取引を開始

2002年7月

- 日経225先物・OP取引のネット取引を開始

2004年1月

- 六本木一丁目 泉ガーデンタワーへ移転

2005年4月

- 大阪証券取引所ヘラクレスへ株式上場

2006年10月

- 現トレーダーズ証券株式会社へ、その事業の全部を包括的に分割させ、トレーダーズホールディングス株式会社へ社名変更し、持株会社制へ移行

2007年11月

- 金融商品仲介業者である株式会社インベストを完全子会社化

レイダースフィナンシャル株式会社を設立しており、システムトレード事業の強化を図ってまいります。

規制強化の流れを受けて

2010年8月から外国為替証拠金取引において、レバレッジ規制が導入されるなど、規制を強化する動きが強まっております。当社グループでは、この流れに対応すべく、事業体制の強化を図っております。

外国為替取引事業では、レバレッジ規制の導入から、投資家の取引動向が現在主流となっている相対取引から取引所取引にシフトしていくことを予想し、取引所取引となる「くりっく365」に自社システム「TRADERS 365」を導入するなどの対応を行っております。

また、規制強化の流れを受けて、同業者の淘汰など、新たな業界再編の動きの加速が予想されることから、その受け皿となるべく、システム機能の強化はもちろんのこと、同じプラットフォームで、相対取引、取引所取引やCFDが可能となるようなシステム環境を実現すべく基盤作りを行っております。

新たな取り組み

当社グループは、今期は創業以来の原点にもどり、日経225先物・オプション取引と外国為替取引事業の強化を図っておりますが、昨今の経営環境を踏まえ、収益源の多様化および経営基盤の強化を目的として、M&Aも視野に入れた投資事業を積極的に展開するため、レイダース・プリンシパル・ファイナンス株式会社を2010年5月に設立いたしました。同社においては、特にアジアにおける高度経済成長と消費に対する価値観の変化に着目し、アジアを中心に事業展開を進めていく方針であります。

2009年10月

- システムトレードに関するソフト販売や情報の提供等を行うレイダースフィナンシャル株式会社を設立
- 株式会社EMCOM TRADEを完全子会社化、同年11月には同社が営む外国為替取引事業をレイダース証券株式会社へ包括的に承継

2010年5月

- 投資事業を目的としたレイダース・プリンシパル・ファイナンス株式会社を設立

● 2010年3月期のグループ構成と事業領域



● レイダース証券株式会社 P7-10へ

(TRADERS SECURITIES CO., LTD.)

設立年月日 平成18年4月12日

資本金 2,000,000,000円

代表者名 代表取締役 橋本 清志

主な事業 第一種及び第二種金融商品取引業

インターネット及びコールセンターを通じて

証券取引事業及び外国為替取引事業等

● レイダースフィナンシャル株式会社 P11へ

(TRADERS FINANCIAL CO., LTD.)

設立年月日 平成21年10月16日

資本金 10,000,000円

代表者名 代表取締役 及川 佳奈子

主な事業 トレード用ソフトウェアの評価及び販売

「システムトレード.com」を通じて、金融商品

に係る自動売買ソフトの販売及び情報提供

● 株式会社インベスト P12へ

(IN BEST CO., LTD.)

設立年月日 平成18年5月8日

資本金 25,000,001円

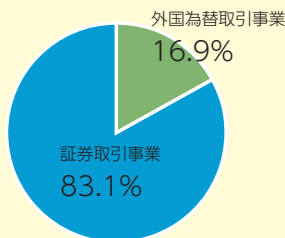
代表者名 代表取締役 古橋 弘光

主な事業 金融商品仲介業

仲介業務を行う金融商品取引業(証券会社等)が
取り扱う金融商品の仲介

2010年3月期の総括

営業収益構成比



証券取引事業では、商品性強化、顧客の取引機会拡大の一環として、国内の投資家が海外市場の動向にリアルタイムで対処することを可能にする海外指数先物取引新サービス『GIT(Global Index Trade)』の開発に取り組み、2009年10月2日より、『GIT』第一弾として、CME®(シカゴ・マーカンタイル取引所)に上場している日経225先物(円建)の取扱いを開始しました。一方で、店舗型販売窓口を持つ金融商品仲介業者との連携を強化し、顧客に対する多面的な営業体制の整備も進め、インターネット型と店舗型の両営業チャネルの強みを相乗的に拡大させる営業戦略を推進し、収益基盤の増強を図っております。

外国為替取引事業では、短期間で投資効率を最大化させる個人投資家のニーズが大きく増加している状況を踏まえて、新オンライン取引システム『TRADERS FX』を2009年7月10日より開始しました。加えて、2009年10月22日付で外国為替証拠金取引『EMCOM TRADE』を運営する

(株)EMCOM TRADEを完全子会社化し、規模、収益両面でスケールメリットを活かすことを目的として、2009年11月30日付で同社が営む外国為替証拠金取引事業を吸収分割により当社連結子会社トレーダーズ証券(株)に承継させることで、『TRADERS FX』に包括的に承継いたしました。また、東京金融取引所における取引所為替証拠金取引「くりっく365」においても、自社開発によるシンプルな操作性と多機能性を併せ持つ新取引システム『TRADERS 365』を2010年1月18日より開始することで、新しい顧客層の開拓に取り組んでおります。

また、トレーダーズ証券(株)では、顧客資産の保全強化を図るため、2009年12月16日より『TRADERS FX』における区分管理方法を三菱UFJ信託銀行における金銭信託に一本化し、『GIT』においても2010年4月1日より日証金信託銀行において信託保全を開始しております。

これらに加えて、日経225先物取引において業界初のシステムトレード機能を搭載した『トレードスタジアム』のサービス提供を行うなど、かねてよりシステムトレード市場の成長性に着目しておりましたが、2010年2月19日には、GIT専用のシステムトレード機能を搭載した『GITスタジアム匠』のサービスも開始しております。また、個人投資家のニーズに合った金融サービス、トレーディングツールに関する投資助言、情報提供を行うことを目的として2009年10月16日に設立したトレーダーズフィナンシャル(株)を、本格的なシステムトレード評価会社として、個人投資家に対するコンサルティング、情報提供などを新たな事業分野として特化させることにより、当社グループ全体の収益モデルの多様化を図っております。

証券取引事業

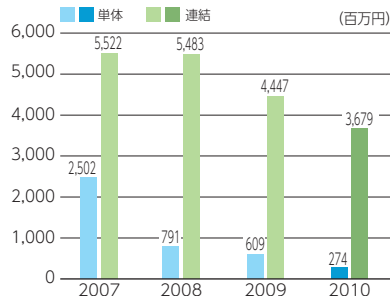
証券取引事業では、同業他社との競争が激化したことや、リスク管理の観点から日経225先物・オプション、日経225mini取引における代用有価証券の取扱い終了、取引制限枚数の引き下げの影響などマイナス要因はあったものの、金融商品仲介業者を経由した取引が増加したことなどにより、営業収益は3,058,445千円(対前年同期比10.8%増うち受入手数料2,777,746千円、金融収益134,241千円)となりました。一方、金融商品仲介業者を経由した取引の増加に伴う支払手数料の増加などにより、営業損失は41,518千円となりました。なお、当連結会計年度末における顧客口座数は29,620口座(対前年同期比16.1%増)、預り資産は26,103,730千円(対前年同期比6.7%減)となりました。

外国為替取引事業

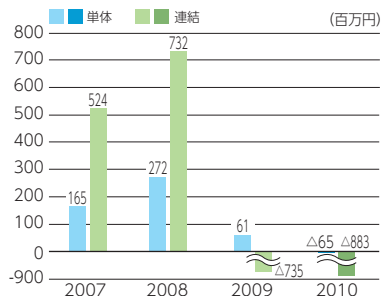
外国為替取引事業は、既存の金融商品・サービスの取扱いを終了したことによる顧客預り資産および取引高がともに減少したこと、同業者間の競争激化の影響などにより取引高が伸び悩んだこと、EMCOM TRADE子会社化の効果が当初の期待を下回る水準で推移したことなどにより、営業収益は621,238千円(対前年同期比63.2%減うち受入手数料56,438千円、トレーディング損益559,510千円)、営業損失は734,063千円となりました。なお、当連結会計年度末における顧客口座数は、EMCOM TRADE子会社化により13,188口座(2009年10月22日現在)が増加したのに対して、『ネットフォレックス』の全27,025口座を2009年11月末に閉鎖したことにより、31,120口座(対前年同期比2.2%減)となりました。また、預り資産は、EMCOM TRADE子会社化により435,103千円(2009年11月30日現在)増加しましたが、『ネットフォレックス』、『NFXプロ』のサービス終了に伴う預り資産の返還を行ったことにより、2,575,034千円(対前年同期比73.6%減)となりました。

決算ハイライト

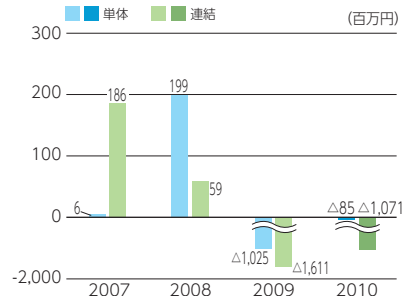
■営業収益



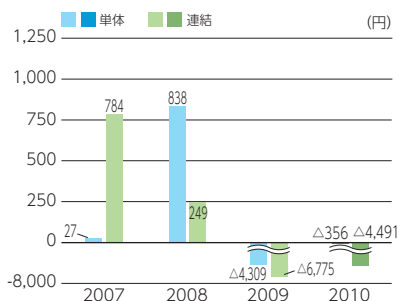
■経常利益



■当期純利益

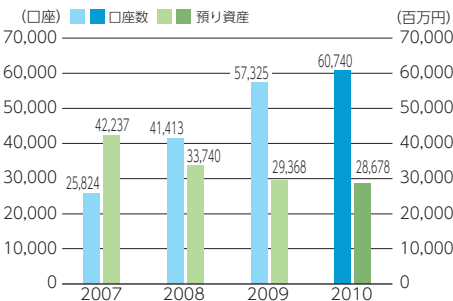


■1株当たり当期純利益

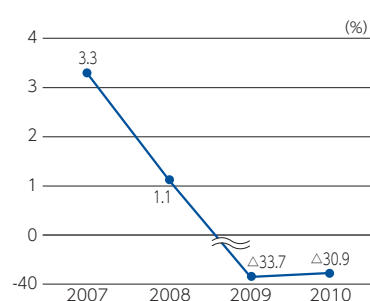


■口座数／預り資産

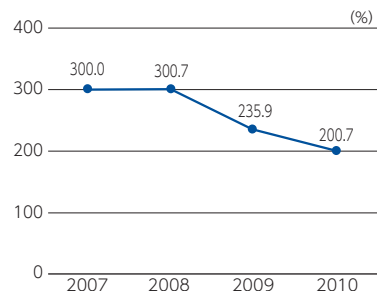
(預り資産は有価証券の保護預り残高を除いて記載しております。)



■自己資本利益率



■自己資本規制比率 (トレーダーズ証券(株))



自己資本規制比率

金融商品取引業者の財務の健全性を測る重要な指標として「自己資本規制比率」があります。「自己資本規制比率」とは、その自己資本から固定的な資産を控除した「固定化されていない自己資本の額」を、諸事情により発生し得る「リスク相当額」で除して算出する指標です。企業の潜在的リスクの合計額に対して、自己資本を源泉とするキャッシュ・フローを何倍保有しているか、を示しており、金融商品取引業者は、自己資本規制比率が120%を下回ることのないようにしなければなりません。

自己資本規制比率の算出方法

自己資本規制比率の算出については「金融商品取引法」及び「金融商品取引業に関する内閣府令」に定められていますが、その概要は以下のとおりとなっています。

$$\begin{aligned} \text{自己資本規制比率}(\%) &= \frac{\text{固定化されていない自己資本の額}}{\text{リスク相当額}} \times 100 \\ &= \frac{\text{基本的項目}^{(注1)} + \text{補完的項目}^{(注2)} - \text{控除資産}^{(注3)}}{\text{市場リスク相当額}^{(注4)} + \text{取引先リスク相当額}^{(注5)} + \text{基礎的リスク相当額}^{(注6)}} \times 100 \end{aligned}$$

(注1) 資本金、資本剰余金、利益剰余金、評価差額金(－の場合)、自己株式(注2) 引当金、劣後債務、評価差額金(＋の場合) (注3) 固定的資産(会計上の固定資産とは異なる) (注4) 保有する有価証券等の価格の変動等により発生するリスクに相当する額(注5) 取引の相手方の契約不履行等により発生するリスクに相当する額(注6) 事務処理ミス等日常的な業務遂行上発生するリスクに相当する額

FINANCIAL STATEMENTS

連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	期別 当期 (2010年3月31日現在)	前期 (2009年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	23,838,906	27,028,944
現金及び預金	2,134,643	3,473,256
預託金	7,452,000	7,924,000
トレーディング商品	15,967	125,072
信用取引資産	4,836,503	3,074,971
短期差入保証金	9,143,902	12,165,318
その他	285,216	278,903
貸倒引当金	△ 29,326	△ 12,577
固定資産	1,108,252	997,719
有形固定資産	366,202	281,046
無形固定資産	359,409	250,624
投資その他の資産	382,640	466,048
投資有価証券	194,750	192,187
長期立替金	164,592	425,231
その他	415,099	501,015
貸倒引当金	△ 391,801	△ 652,386
資産合計	24,947,158	28,026,664

注)記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

科目	期別 当期 (2010年3月31日現在)	前期 (2009年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	21,302,612	23,530,945
トレーディング商品	—	3,320
信用取引負債	4,735,163	3,085,475
預り金	4,724,603	5,640,490
受入保証金	9,467,720	13,623,328
短期社債	1,200,000	—
短期借入金	751,600	700,000
リース債務	125,166	130,528
未払法人税等	7,655	7,831
事業整理損失引当金	24,977	68,000
その他	265,724	271,971
固定負債	604,961	405,995
長期借入金	318,400	—
リース債務	255,834	392,918
その他	30,727	13,076
特別法上の準備金	96,055	84,501
金融商品取引責任準備金	96,055	84,501
負債合計	22,003,629	24,021,442
(純資産の部)		
株主資本	2,925,814	3,997,190
評価・換算差額等	4,944	△ 1,689
新株予約権	12,770	9,720
純資産合計	2,943,529	4,005,221
負債・純資産合計	24,947,158	28,026,664

解説-1

受入保証金の減少について

負債の部における「受入保証金」が、前年同期比で4,155,607千円減少しております。これは主に、外国為替取引事業において、外国為替証拠金取引システム「ネットフォレックス」、[NFXプロ]のサービス終了に伴う預り資産の返還を行ったことにより「外国為替受入証拠金」が前年同期比2,885,321千円減少したこと、および証券取引事業において、日経225先物・オプション、日経225mini取引における代用有価証券の取扱い終了、取引制限枚数の引き下げの影響により「先物取引受入証拠金」が前年同期比1,388,723千円減少したことなどによるものです。

解説-2

社債による資金調達について

トレイダーズ証券株式会社におきまして、「TRADERS FX」における顧客資産の完全分別信託を実施するにあたって(開始日平成21年12月16日)、カバー先金融機関への預託金に必要な資金1,200,000千円を短期社債にて調達しております。

解説-3

特別損失の発生について

統合管理システム(顧客情報入力ツール)について、新システム開発を中止したことに伴う固定資産除却損32,228千円を計上したこと、本店移転に伴う設備の一部除却、撤去・解体工事および移動等に要する移転費用42,545千円(移転経費30,200千円、固定資産除却損12,344千円)を計上したこと、トレイダーズ証券株式会社において、外国為替証拠金取引システム「ネットフォレックス」のサービス終了(終了日平成21年8月28日)に伴い、同サービスに使用していたソフトウェアについて資産性を検討し、固定資産等減損損失50,083千円、リース解約違約金18,388千円、固定資産除却損1,880千円を計上したことなどにより特別損失195,283千円を計上いたしました。

連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	期別	当期	前期
		(2009年4月1日から 2010年3月31日まで)	(2008年4月1日から 2009年3月31日まで)
営業収益		3,679,684	4,447,432
受入手数料		2,834,184	2,892,897
トレーディング損益		559,510	1,463,185
金融収益		136,200	87,139
その他の		149,788	4,209
金融費用		129,262	93,932
純営業収益		3,550,422	4,353,499
販売費及び一般管理費		4,392,784	5,094,049
営業損失		△ 842,362	△ 740,550
営業外収益		6,163	29,722
営業外費用		47,687	24,982
経常損失		△ 883,886	△ 735,809
特別利益		8,365	98,269
貸倒引当金戻入益		8,365	-
新株予約権消滅益		-	854
関係会社株式売却益		-	97,298
その他の		-	116
特別損失		195,283	878,227
固定資産除却損		55,796	32,356
貸倒引当金繰入額		-	227,154
解約違約金		18,388	149,531
減損損失		50,083	226,897
本社移転費用		30,200	-
その他の		40,815	242,287
税金等調整前当期純損失		△ 1,070,804	△ 1,515,768
法人税、住民税及び事業税		571	8,645
法人税等調整額		-	87,296
当期純損失		△ 1,071,376	△ 1,611,710

注)記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	期別	当期	前期
		(2009年4月1日から 2010年3月31日まで)	(2008年4月1日から 2009年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー		△ 2,270,003	△ 233,554
投資活動による キャッシュ・フロー		△ 507,766	△ 150,532
財務活動による キャッシュ・フロー		1,439,894	△ 439,850
現金及び現金同等物に 係る換算差額		△ 737	△ 10,647
現金及び現金同等物の増減額		△ 1,338,612	△ 834,585
現金及び現金同等物の期首残高		3,473,256	6,417,375
資金の範囲の変更に伴う現金 及び現金同等物の増減額		-	△ 2,109,533
現金及び現金同等物の期末残高		2,134,643	3,473,256

注)記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(2009年4月1日から2010年3月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本					評価・換算差額等		新株 予約権	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
2009年3月31日 残高	2,837,565	2,104,663	△ 941,890	△ 3,148	3,997,190	△ 1,689	△ 1,689	9,720	4,005,221
連結会計年度中の変動額									
当期純損失			△ 1,071,376		△ 1,071,376				△ 1,071,376
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						6,634	6,634	3,050	9,684
連結会計年度中の変動額合計	-	-	△ 1,071,376	-	△ 1,071,376	6,634	6,634	3,050	△ 1,061,691
2010年3月31日 残高	2,837,565	2,104,663	△ 2,013,266	△ 3,148	2,925,814	4,944	4,944	12,770	2,943,529

注)記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

グループ会社の取り組み

トレーダーズ証券 システムトレードへの取り組み

今注目を集めるシステムトレードを可能に

システムトレードとは、過去の価格変動や売買の動向などの数値を機械的に分析し、一定のルールで導きだされる売買サインなどを基にして発注を行う取引手法です。日本でも、ここ数年、システムトレードへの関心がとみに高まってきています。

トレーダーズ証券株式会社では2007年11月にシステムトレード機能を搭載した日経225先物・オプション取引システム「トレードスタジアム (TRADESTADIUM)」をリリースし、今日まで多くのお客様にご利用いただいております。

2010年2月には、昨秋より取扱いを開始したGIT (海外指数先物取引)用のシステムトレードプラットフォームである、「GITスタジアム

匠 (たくみ)」をリリース、日経225だけでなく、GITの世界でもシステムトレードによるお取引をしていただける環境を整えました。

加えて、外国為替証拠金取引においても、個人のお客様に気軽にシステムトレードによるお取引をしていただける環境の整備に注力する方針であり、2010年6月には、「TRADERS 365」において、くりっく365では初となる、APIの公開を予定しております。

日経225先物

大阪証券取引所

自動発注

トレードスタジアム



戦略設定

お客様

GIT (海外指数先物取引)

CME

自動発注

GITスタジアム匠 (GITスタジアム)



戦略設定

お客様

くりっく365

東京金融取引所

自動発注

TRADERS 365 (API公開) (2010年6月予定)



戦略設定

お客様

API (Application Program Interface) とは

簡潔にプログラミングを行えるように、処理手順をまとめてやりとりできるように設定したインターフェースです。エクセルのVBAやWEBプログラム等、HTTP接続が可能な環境があれば、自由に発注が可能となります。



詳しくは、ホームページをご確認ください。

<http://www.traderssec.com/nikkei225/>

トレーダーズ証券 外国為替取引事業

店頭取引だけでなく、取引所取引でも快適なトレード環境を

OTC(店頭取引)で好評を博したTRADERS FXと同様のプラットフォームをくりっく365(取引所取引)にも採用し、お客様のニーズにあった取引を同じプラットフォームでできる環境を実現しました。

2009年7月に新しいオンライン取引システムとなる「TRADERS FX」をリリースしました。スピードと操作性を重視した取引システムの導入は、主に機動的にトレードをするお客様から大きな反響をいただきました。

また、2008年10月から取扱いを開始した、くりっく365(東京金融取引所)では、今まで取引所が提供する取引システムを利用していたが、2010年1月に、「TRADERS FX」と同様のオンライン取引システム「TRADERS 365」に刷新、くりっく365の世界でも「TRADERS FX」と同じ操作性でお取引をしていただける環境を整えました。

さらに、お客様にはトレード技術の向上や商品への理解をより深め

ていただくため、東京金融取引所「金融取プラザ」や当社セミナールームで定期的にセミナーを実施しており、毎回多くの皆様にご参加いただいています。

【過去のセミナー内容】

- FXスタート前のおはなし(FX取引の仕組みやリスク管理について)
- 市況セミナー(主要通貨ペアの変動要因やその影響について)
- システムトレードセミナー(システムトレードの仕組みやルール作りについて)

TRADERS FX



TRADERS 365



詳しくは、
ホームページをご確認下さい。
<http://www.traderssec.com/forex/>

グループ会社の取り組み

トレーダーズ証券 証券取引事業

日経225先物・オプション取引に特化した取引を提供

「自分の好きな時間に取引ができる」「自分の投資したい国に投資できる」「自分が相場を見ることができない状況でも取引ができる」そんな個人投資家のニーズに合わせて、取引ツールを強化していきます。

NET INDEX

Webブラウザ版の取引システム。
高水準の約定スピードを実現し、さらにシンプルな操作・見やすい板画面構成で根強い人気。モバイルからの発注も可能。



TRADESTADIUM

システムトレード機能を搭載したリッチクライアントの取引システム。
画面のカスタマイズが可能で、さらに多彩な投資情報ツール「クイック注文」など機能が充実しており、上級者も納得の取引システム。



CME(シカゴ・マーカンタイル取引所)に上場しているCME®日経225先物をお取引いただけます。日本の取引所が閉まっている夜中でも取引することができるほか、相場が急変した場合でも、日中持ち越したポジションに対するリスク回避をすることができます。
世界の機関投資家も愛用しているシステムで、板画面からワンクリックでの注文・発注・取消も可能です。

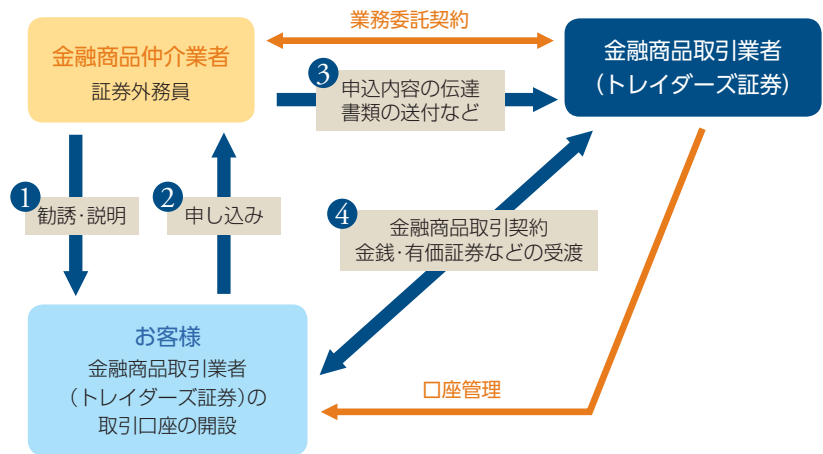
トレーダーズ証券 金融商品仲介業の展開

金融商品仲介業 (IFA) による営業チャネルの拡大

金融商品仲介業を展開する証券会社の多くは、株式や投資信託を中心としていますが、当社はそれらの商品に限定されず、デリバティブ・オンライン証券の強みとして日経225先物・オプション取引やGIT (海外指数先物取引) も提供し差別化を図っています。

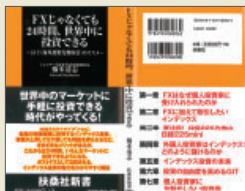
トレーダーズ証券の仲介業モデルは現物株式・投資信託に限定されず、日経225先物・オプション取引も取り扱い商品として提供しています。他社とは異なる独自路線を歩み、その実績・ノウハウは特筆すべきことであると自負しております。

また、円滑な営業活動が行えるよう管理、研修および検査体制を確立し、IFAビジネスの支援体制の強化をいたしました。



Information

トレーダーズ証券代表取締役社長である橋本清志による著書が2009年11月2日より全国書店にて発売されております。



「FXじゃなくても24時間、世界中に投資できる～GIT (海外指数先物取引) のススメ～」

(価格: 税込714円、出版社: 扶桑社)



NET INDEX 日経225先物取引

TRADESTADIUM 日経225先物取引

G2T STADIUM CME®日経225先物取引

TRADERS FX TRADERS 365

詳しくは、トレーダーズ証券ホームページへ

<http://www.traderssec.com/>

グループ会社の取り組み

トレーダーズフィナンシャル

2010年3月2日事業開始！

トレーダーズフィナンシャル株式会社は、2009年10月にトレーダーズグループの一員として設立されたシステムトレードに特化した会社です。自動売買ソフトの評価及び販売やシステムトレードに関するセミナーを行っています。今後もシステムトレードに関する投資情報の配信等、新たなコンテンツをご提供する予定です。

システムトレードの専門サイト「システムトレード.com」を開設

「システムトレードって何？」

「システムトレードについて勉強してみたい。でも誰に聞けばいいの？」

「システムトレードのソフトって、たくさんあり過ぎてどれがいいのかわからない」

そんな投資家の声を形にしたサイトです。

今後もさらにコンテンツを拡充していく予定です。

 **システムトレード.com**



システムトレード専門サイト
「システムトレード.com」



「トレーダーズフィナンシャル」
ホームページ

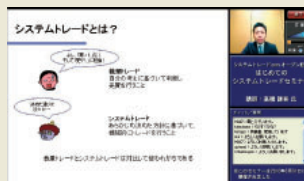
Contents ①

システムトレード用ソフトの販売
金融グループの一角である独自の
強みを生かし、専門知識のあるス
タッフやプログラマーが厳格に審
査したソフトをシステムトレ
ード.comにて販売
しております。



Contents ②

システムトレードに関する
セミナーの開催
初心者向けから上級者向けまで、
随時セミナーを開催しております。



Contents ③

システムトレードに
関する書籍のご紹介



詳しくは「システムトレード.com」へ

<https://www.portal-systemtrade.com>

インベスト

金融商品のセレクトショップを目指して

株式会社インベスト(In-Best)は、金融商品仲介業者として証券会社等の金融機関と個人投資家の間に立ち、個人投資家にとって、Intermediary(仲介者)としてBestな存在を目指しています。

株式会社インベストは、個人投資家のマネープランに沿った適切な金融商品を提案する金融商品仲介業者です。

金融商品仲介業とは、金融商品取引業者から委託を受けた金融商品について、投資家それぞれのニーズに即した提案を行っている会社です。

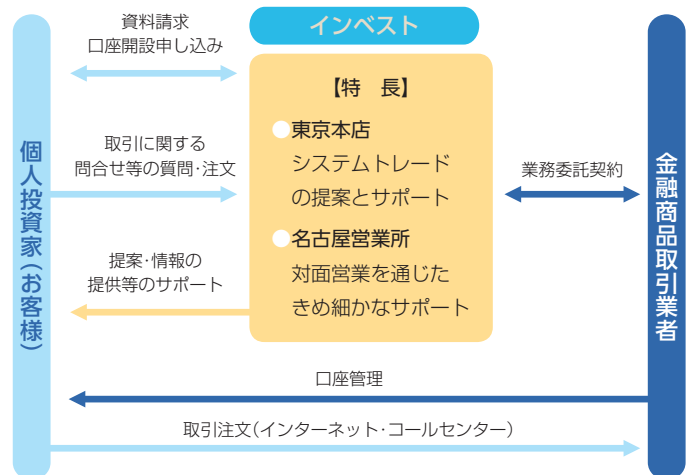
インターネット環境の発達により、多くの個人投資家は金融商品の取引をインターネット上で行うようになりました。便利になる一方で、取引の内容について専門家に相談するという機会は減少しています。そのような中、インベストでは取引に関わる情報提供をはじめ、投資に関する専門的な問合せについても丁寧に対応する等、ネット取引を中心とした金融商品取引業者にはない、きめ細かなサービスを個人投資家向けに提供しています。

多彩な金融商品のラインナップ

インベストでは、株式現物・信用取引の他に日経225先物・日経225miniなどのデリバティブ商品も取り扱っています。また、委託を受ける金融商品取引業者を増やすことで、提案可能な金融商品の拡充を目指しています。

さらに、インベストでは

他の金融商品仲介業者にはない、日経225をはじめとするデリバティブ取引と自動売買(システムトレード)を結びつけた取引スタイルを提案することができます。



金融商品仲介業 インベスト

検索

今すぐクリック!

※現在、インベストはホームページリニューアル中です。(近日公開予定)

詳しくは、ホームページへ

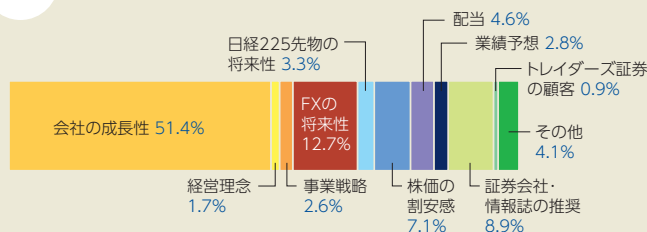
<http://www.in-best.co.jp/>

前回は、1,062名(うちWeb回答46名)もの株主様からご協力をいただきました。誠にありがとうございます。
今回も引き続き「株主アンケート」をお送りしますので、ご協力をお願いいたします。

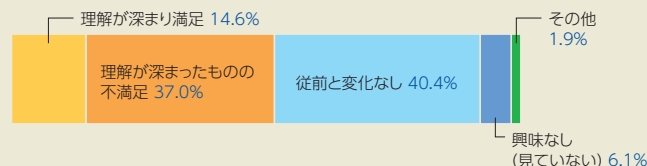
トレーダーズホールディングスでは、より積極的なIR活動を展開するため、定期的に株主アンケートを実施しています。添付のアンケートハガキにご回答の上、ご投函いただくか、当社ホームページ(<http://www.tradershd.com/>)よりご回答くださいますよう、お願い申し上げます。
株主の皆様からのご回答を心よりお待ちしております。 ※アンケートの締め切りは、2010年7月27日(火)着までとさせていただきます。

2009年12月送付分アンケート結果

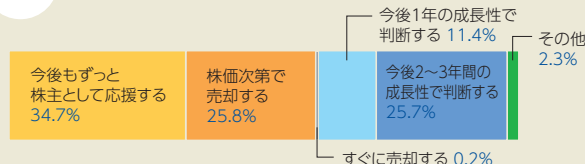
当社の株式を購入されたきっかけ(動機)をお聞かせください。



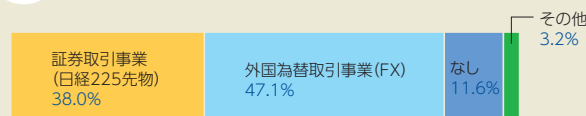
報告書記載の財務内容解説に関する評価をお聞かせください。



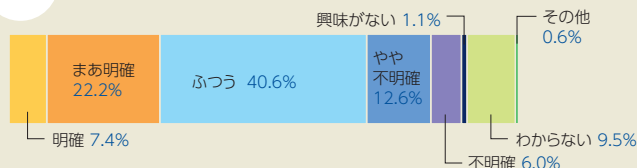
当社株式の今後の保有方針をお聞かせください。



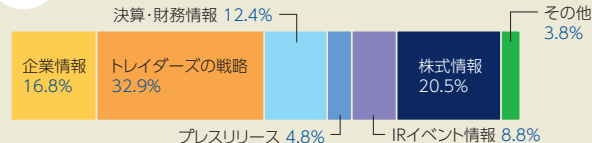
当社事業で成長が期待できる分野につきお聞かせください。



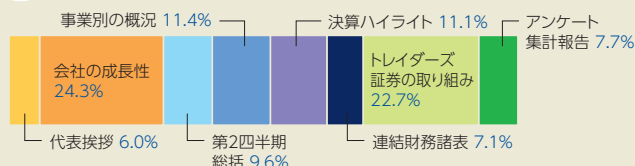
当社の経営方針についてお聞かせください。



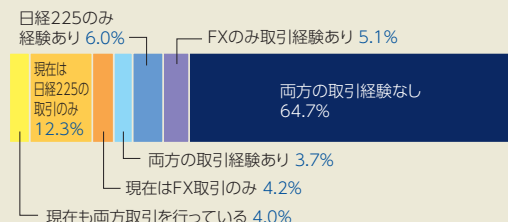
当社HPでより充実してほしいコンテンツをお選びください。



今回の中間報告書において興味を持たれた記事は何ですか？



日経225先物及びFX取引経験につきお聞かせください。



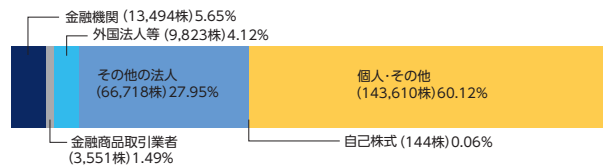
■株式の状況 (2010年3月31日現在)

発行可能株式総数	803,400株
発行済株式の総数	238,704株
株主数	7,985名

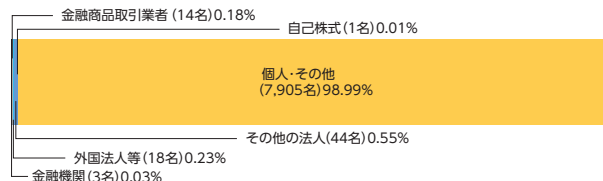
大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
グロードキャピタル株式会社	63,000株	26.39%
金丸貴行	19,012	7.96
株式会社三菱東京UFJ銀行	11,648	4.87
金丸多賀	11,523	4.82
ロンパーオディエダリエハンチアンドシー	4,950	2.07
中川明	3,200	1.34
新妻正幸	2,976	1.24
金丸勲	2,140	0.89
井上モト子	2,050	0.85
橋本清志	2,000	0.83

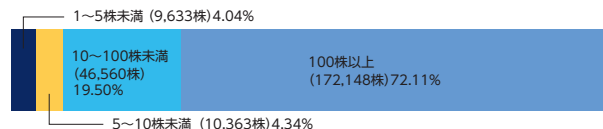
所有者別株式分布 (株式数)



所有者別株主分布 (株主数)



所有株数別株式分布 (株式数)



■会社概要 (2010年6月24日現在)

会社名	／ トレイダーズホールディングス株式会社
英訳名	／ TRADERS HOLDINGS CO., LTD.
所在地	／ 〒106-6034 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー34階
設立年月日	／ 1999年11月5日
資本金	／ 2,837,565千円
代表者名	／ 代表取締役社長 金丸 勲
従業員数	／ 連結74名 単体8名 (2010年3月31日現在)
主な取引金融機関	／ 三菱東京UFJ銀行 三菱UFJ信託銀行 三井住友銀行 リソナ銀行 みずほ銀行
主な子会社	／ トレイダーズ証券株式会社 株式会社インベスト トレイダーズフィナンシャル株式会社

■役員構成 (2010年6月24日現在)

取締役

取締役会長	金丸貴行
代表取締役社長	金丸勲
取締役	中川明
取締役	橋本清志

監査役

常勤監査役	角田正英
監査役(非常勤)	大網英道 (公認会計士)
監査役(非常勤)	渡邊剛 (弁護士)
監査役(非常勤)	會田健一 (公認会計士)

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領株主確定日 3月31日

中間配当金受領株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

上場取引所 大阪証券取引所 ヘラクレス市場

公告の方法 電子公告

公告掲載URL <http://www.tradershd.com/>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1.株主様の住所変更等その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

詳しくは、当社ホームページをご覧ください。

<http://www.tradershd.com/stock/info.html>

【株式に関するお手続きについて】

特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取(買増)請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(※) 	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> ○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	【手続き書類のご請求方法】 ・音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料) ・インターネットによるダウンロード http://www.tr.ufig.jp/daikou/

(※)特別口座に記録された株式をご所有の株主様は配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

ホームページのご紹介



1. プレスリリース



2. ディアネットサービス
—IRメール配信サービスのご案内—

3. 決算・財務情報

4. IRイベント情報
—決算説明会・決算発表の日程等—

5. 株式情報



当社グループについて詳しくお知りになりたい方は、当社ホームページをご覧ください。当社へのご理解を深めていただけるよう各種情報などを掲載しております。

<http://www.tradershd.com/>

トレイダーズホールディングス 株式会社

〒106-6034 東京都港区六本木 1-6-1 泉ガーデンタワー34階 TEL.03-5114-0344 (代表)

<http://www.tradershd.com/>

